

洋書輸入協会会報

VOL. 24
NO. 2

(通巻274号) 1990年2月

新春賀詞交換会

賀詞交換会が1990年1月8日(月)、東京プリンスホテルにおいて77社約200名と多数の会員の出席を得て行なわれました。

昨年は昭和天皇のご病状が安定されず、国民が心配される最中でもあり中止と決り、2年振りの新年会となりました。定刻より10分遅れの6時10分に三洋出版貿易伊部社長の司会進行で開会されました。

まず、海老原理事長(丸善社長)より次のような挨拶がありました。

昨年は業界を取り巻く環境は冷たい風が吹いた年であった。それというのも為替相場の不安定、ユーザーの動向、情報関連技術の急速な進歩にどう対応してゆくのかなどに心を砕いた1年であった。昨年1月7日に昭和天皇が崩御され、昨年の今日は元号が平成に変わった日である。平成元年は内外共に大変動きの激しい年でもあったが、90年代最初の年になり、あと10年で時代は21世紀へ移る事になる。この40年で我が国の経済は見事に復興再建され、今日ではアメリカ経済を脅かすまでになってきた。それだけに国際社会への積極的な貢献を期待する声も次第に高まってきている。こうした国際化が急速に進む中で、これまであまり国際経済の荒波にもまれる事のなかった我が国固有の地場産業、あるいは商業領域までが国際競争の嵐に巻き込まれ、苦境に立たされる様

になってきた。我が洋書業界もその例に洩れず、従来は日本固有のサービス形態によってユーザーと緊密な関係を保ってこられたが、昨年は外資のマーケット参入により低価格競争およびサービス競争に直面する事になった。当業界も為替相場に一喜一憂し、あるいは外資の動向に神経を尖らす状態から一日も早く脱し、外資に対抗出来る国際競争力を身につけ、名実共に国際的業界団体への成長が強く求められていると考える。同時に情報媒体の多様化に伴い書籍の占めるマーケットのパイは小さくなる一方であり、今年こそ外資の攻勢を跳ね返すべく業界各社のパワーと工夫を結束し、日本のマーケットは我々が確保すべき年であることを希望し、皆様のご繁栄を願い又来年この席でお会い出来ることを念願する。

続いて紀伊國屋書店の松原社長より次の様な挨拶がありました。

昨年を振り返ると激変と苦渋に満ちた年であった。国際化、情報化の時代に向って協会の使命・仕事の範囲は大変重要であると思うが、これ程洋書の仕事は利益の出ない時代を迎えた事は初めてである。洋書の利益を計算して見ると、和書を販売するよりははるかに悪いのが現実である。和書全体としても消費税の問題、労働力、輸送の問題が非常に大きなネックになり、5万坪増床したにも拘らず僅か3%の名目的成長であった。しかし洋

新春賀詞交換会	1
海外ニュース	2
洋書輸入協会史(50)	3

文化厚生委員会だより	
第54回72会ゴルフコンペ	5

広告	6
----	---

書の場合にはもっとひどい状況であると思う。協会もいまや出来る事から実行して行く事が必要な時に来ていると思う。輸入問題についても様々な構造的問題があり、これを一つ一つ解決して行く必要がある。一つの例としての消費税についても、海外の業者が国内のユーザーへ送品すれば消費税はかからないこと。又輸入業者の買っている価格と、海外で出版社が国内で販売する価格との相違、輸送費、消費税、価格の問題等々、こうした件を解決しなければ到底対抗出来なくなると思う。当社も海外へ和書を輸出しているが、国内定価の約1.8倍、雑誌については2.5倍で販売しなければとても採算が取れないのが実情である。この場合ユーザーから高いと非難を受けるが、逆に輸入販売の場合でも外国国内の定価表示があるため非常に高いという印象を与えており、和書を買うより利益が少ないのに不当に利益を得ていると誤解を受けている。和書の場合も海外定価、輸入書籍にも海外定価をつけなければこの様な誤解は解けないのでは

ないかと思う。こうした問題を今年は解決しなければ本当に利益のある業界として成り立たない心配があり、海外の出版社、国内の消費者、関係官庁方面の充分な理解を得る方法を考えてゆくべきだと思う。理事長を中心として結束し、利益のある業界にしてゆきたいと考える。

続いて松原社長のご発声で、会員の繁栄と健勝を祈念して声高らかに乾杯し歓談に入りました。2年振りの新年会でもあり、あちらこちらで人の輪が出来、日頃のご無沙汰をお詫びしたり、お互いの健康を確認し喜び合ったり、又互いに情報の交換をしながら大変和やかに会は進行了。歓談はつきなかつたのですが、8時に相良顧問の三本ジメで名残り惜しさの中に会はお開きとなりました。

最後になりましたが、この会を企画され準備に心を砕かれた文化厚生委員長の三洋出版貿易さんと、事務局の柴田さんに心から感謝する次第です。(K. T. 記)

海外ニュース

「米出版社ランキング」

近年出版社の統合、合併、買収、売却が相次いで行われ、いったいどこが大きいのかかなりの業界通でもわからなくなっていたが、昨年のPW誌12月15日号に売上高によるトップ20が発表された。

これによると第1位はSimon & Schusterで売上高推定約13億ドル、第2位は昨年末にWarner BooksやBOMC, Scott, Foresmanなどを合併したTime Inc. Book Co.で9億8千8百万ドル、第3位はHarcourt Brace Jovanovichで約9億ドル、第4位Random House約8億ドル、第5位Readers Digest約8億ドル近くである。以下Mc Graw-Hill, Encyclopedia Britannica, Bantam Doubleday Dell, Times Mirror, The Thomson Corp., Harper & Row, Grolier などとなっている。

(PW. 12月15日号より)

「ハーパー社の賭け」

Harper & Row社はいわゆるクォーリティー・ペーパーバックの出版には長い伝統を有しているが、マスマーケット・ペーパーバックに進出するのは今回がはじめてである。この1月はじめに出版されたペーパーバックの第1号、Tony Hillermanの“A Thief of Time”は、ペーパーバックのフィクションの部のベストセラー第3位に進出し、すでに100万部を売って、まずは好調な売り出しを見せた。

しかし、マスマーケット市場への進出を急ぐあまり版權獲得に金をかけすぎているという非難の声があがっている。たとえば、アガサ・クリスティーのミステリー33点のリプリント権に960万ドル、レン・ディトンの新刊書4点のハードカバーとペーパーバックの版權に1千万ドルを支払っている。通常の倍だと云うのである。

ご承知の通りペーパーバック市場はこのところ停滞気味で、それだけにハーパー社の動きは一層目立ち、一種のギャンブルとさえ目されている。

(N.Y. Times 1月22日号より)

— 梯紀伊國屋書店提供 —

洋書輸入協会史 (50)

洋書輸入協会顧問 相良廣明

〔訂正事項〕

洋書輸入協会会報 Vol. 23No. 12 (1989年12月号) 所載、洋書輸入協会史 (48) の56 (章) 「ドイツ新刊書籍展の開催」の56.6 (項) 「開催に当って」参照。この項の9行目に、「また地方会場は次のように決った。」として

札幌 富貴堂書店二階ホール

と記しましたが、これは北大農学部講堂に変更開催された由、メクレンブルグ商会の鈴木和夫氏から御指摘を頂きました。訂正いたします。

57 海賊版 (盗版) 問題 (第二次) …… (前号よりの続き)

57.5 Gmelin 問題国際化

前述のように、Gmelin の翻刻版の予約募集は昭和31 (1956) 年8月以降において国際問題化した。即ちドイツ大使館経由で外務省へ抗議があり、文部省へも通達が行き、両省から海外出版物輸入同業会が照会を受けるなどのことがあった。

57.6 版元、Gmelin の予約を解約

もともと Gmelin の予約募集のチラシには、正式の翻刻許可を得てから出版する旨が明記されていたが、情勢がこのようになった以上正式許可がおりるはずもなく、版元は解約した。ところが予約金5万円を受け取っていたために、これを支払った客より詐欺だとして告訴されるなどのことがあったので、半額は3月中に返金し、残額は出来るだけ早く返金することとなった。その他にも何かとトラブルがあった模様である。

57.7 著作権国内法の改正促進の陳情 (第二回目)

昭和32 (1957) 年1月中旬、関西支部 旭屋書店洋書部長 二階堂 博氏より、海外出版物の無断復刻版の横行が以前にもまして公然と行われていること、海賊版業者は、洋書輸入業界の動向に敏感で、同業会で海賊版対策を取り上げているときは、その販売を控えているように見受けられること、従って同業会が、一日も早く著作権国内法の改正を実現して法的取締を強化すること、そ

の実現までは常時海賊版対策に取り組むこと、またそれをやれば当局の理解も深められ、海賊版業者に対する規制にもなること、などを申し入れてきている。

これをうけた理事会は、内閣の変ったこと (昭和31年12月20日鳩山内閣総辞職、23日石橋内閣成立する) を機会に、今一度著作権国内法改正促進の陳情書を提出することとし、その文案を練り始めた。そして2月13日の懇談会で陳情の件を議題にあげ、更に3月15日の懇談会で陳情書案の承認をとりつけ、提出のはこびとなった。

57.8 毎日新聞で Gmelin などの海賊版の問題が記事となる

昭和32 (1957) 年3月22日、毎日新聞は夕刊の3面に「洋書の海賊版を追い出せ」「国際信用を落す」輸入業者が陳情へ「だが利用者は頭が痛い」などのみだしをつけ、海賊版問題を記事にした。

この記事は、その後国会で海賊版の問題が取り上げられ、ひいては著作権国内法の改正が促進されたきっかけとなった重要な意味を持つものである。やや長くなるが全文を次に引用する。

記

外国の書物の内容をそっくりそのまま盗んで秘密出版する「海賊版」が最近日本国内に横行している。ユネスコでも問題にされ、国際信用にもかかわることなので、丸善や紀伊國屋、教文館など洋書を扱う47社の「海外出版物輸入同業会」=理事長 司 忠氏=では、これを一掃するため著作権法を改正して違反者への罰則を強化するよう近く文部省に陳情する。だが利用者が研究費に恵まれない学究ばかりで、悪いと知りながらも「背に腹はかえられない」面もあり、関係者の表情は複雑だ。

まるで海賊のやり方だということから名付けられたこの盗版の元祖は戦前の上海。それが戦後は日本が根拠地となり、同業会が調べただけでも現在100種類にものぼっている。中でも多いのはアメリカの自然科学書で、とくに工業関係の多いのが目立っている。いずれもオフセット版で印刷は汚いが安いのが魅力。

たとえば1冊1万円のアメリカの「化学工業百科辞典」が2,340円。ドイツの「グメリン」(無機化学全集)は79巻で185万円のものが33万円、またケンブリッジ大学出版の「ボールドウィンの生化学」2,100円が900円、オランダの「エルセビア」(精油)など5,000円のものが1,600円で手に入る。

日本は昨年ユネスコの国際著作権同盟へ加入したが、とたんに前記のグメリンの海賊版の予約募集が東京で行なわれていることが同盟と国際化学連合(本部スイス)の議題となった。

抗議を受けた同連合の東洋代表である東大理学部の水島三郎教授ら関係者が販売元を突きとめ、発行を中止させて一応同本部の了解を得たが、ことしの2月にはさらに大阪天王寺の学術資料社と称する出版元が「ウルマン」を複製して一巻だけを1,800円(原書は11,000円)で売っていたことがわかり、西独総領事から告訴されるという事件が起こった。

外国の著作権元からの依頼でこの種の海賊版を押収した例は少なくないが、いずれも発行元はつかめない。またつきとめても賠償能力がないものが多く、関係者も半ばサジを投げた形である。

しかし、このため新しく出版された書物を日本に送ることをストップしているところもあり、見かねた学会でも国際信用を回復するためグメリン事件の際は日本化学会(会長 井上春成氏)が会員に著作権を尊重するよう声明文を出している。

現在の著作権法では①親告罪のため被害者からの訴えがなければ取締れない②罰則がわずか2,000円の罰金にすぎない点から防止は困難で、同業会の陳情もこの点の改正を強く望んでいる。

司忠氏の話 日本人同志で訴えたりすることはできればやりたくない。しかし国際信義に反することだし、被害を受けた海外の版元から多くの訴訟依頼を受けている。学生や若い研究者には高い原書は負担が多すぎるということも大きな原因だから、海賊版防止の意味でアメリカの一部の本だけが許可を得て安い“複製版”の発行もはじめている。(以上)

57.9 Gmelinをはじめとする海賊版の問題が国会文教委員会で取り上げられる

昭和32(1957)年3月27日、第26回国会、衆議院文教委員会で、同委員会の委員である社会党の高津正道代議士が、3月22日の毎日新聞の記事をうけ、Gmelinをはじめとする海賊版の問題を取り上げた。同氏はこの問題以外にも、洋書が非常に高いのに、研究所・図書館の図書購入予算が少なくて困っている、これらへもっと補助金を出せば海賊版を買わなくて済むのではないかと、我々海外出版物輸入同業会からすると願ってもない質問をし、意見を言ってくれている。実は同業会はこの質問があったことはだいぶ後から知って、それから速記録を入手し研究した次第である。この質問が文部省、大蔵省へ及ぼした影響は大きく、著作権国内法の改正へ向けて、実質的な初動のインパクトを与えている。そこで前出の毎日新聞の記事と重複するところもあるが、非常に重要な質疑応答であると思われるので、文教委員会議録第12号の関係箇所の全文を以下に再録する。

なお当日の文教委員会の出席者は次の通り。

出席委員 委員長 長谷川 保

委員 坂田道太、竹尾 式、河野 正、佐藤親次郎、北村徳太郎、塚原俊郎、牧野良三、山口好一、小牧次生、桜井奎夫、高津正道、辻原弘市、野原 覚、平田ヒデ、小林信一

出席国務大臣 文部大臣 灘尾弘吉

出席政府委員 文部事務官(初等中等教育局長)内藤 誉三郎 同(大学学術局長)緒方信一 同(社会教育局長)福田 繁 同(管理局長)小林行雄

委員外の出席者 大蔵事務官(主税局税制第一課長)塩崎 潤 文部事務官(大臣官房総務参事官)斉藤 正 専門員 石井 昂
(いずれも敬称略)

記

○高津委員 小さいように見えるが、私の主観だけでなく、確実に大きな問題と思えるに違いない問題について質問いたします。

わが国は、昨年ユネスコの国際著作権同盟に加入したのでありますが、その加入直後に、日本で著作権を無視するグメリン複製事件なるものが起ったのであります。これはドイツの無機化学全書、定価185万円のものを複製致しまして、33万円で売ると大きい予約募集をして問題になった事件であります。すると、大きな問題になったので、昨年8月の半ばにユネスコや国際化学連合の総長

ストール氏より、同連合日本代表水島三一郎氏に電報があり、また日本学術会議化学研究連絡委員会委員長亀山直人氏に手紙があり、グメリンの無許可出版を取りやめるよう、また国際化学連合理事会での説明に必要な材料を提供するよう連絡があった、こういうように、ユネスコや国際化学連合の理事会でも議題に上るまでに発展したのであります。

これは一例にすぎませんで、アメリカの自然科学書、特に工業関係書の不正版が非常に多いのであります。現在はまさに洋書の海賊版の横行時代ともいえる時代であります。本年の2月には、大阪天王寺の出版元がドイツのウルマンの複製をして、西ドイツの総領事から告訴されるという事件も起っております。(この項次号へ続く)

文化厚生委員会だより

第54回72会ゴルフコンペ

12月15日第54回72会コンペが埼玉県の高根カントリークラブで行われました。89年度の納会を兼ね、又歴史ある当会の80年代を締めくくるコンペとなりました。これまで諸先輩の尽力によって続いて来た当会ですが、これ

からも皆様の協力を得て21世紀まで続いてゆくようにしたいと思います。さて当日東京圏では目のさめるような快晴。ところが関越自動車道でコースに近づくにつれていやなムードに。なんとコンペの行われるエリアだけが厚い雨雲につつまれどしゃぶりに。結局傘をさしてのスタートとなりました。幹事2人で今年そんなに悪い事したかなあと自問自答しながら。しかし皆の祈りが通じたのか3ホール目ぐらいで日がさし始め、中盤からは素晴らしい天気恵まれました。今日も激戦というより混戦。集計してみなければわからないという中から浮上したのが渡辺さん。前々回3位入賞していたので予想屋上杉さんも◎でした。そして2週前の麻雀大会の納会で優勝した原さんが余勢をかって2位、いつもマイペースの石原さんが今日は安定上位入賞しました。以下成績です。グロスのスコアは入賞者の強い要望により割愛します。

優 勝	渡辺正憲 (洋服)	Net 78
準優勝	原 康三 (紀伊國屋)	Net 83
3 位	石原隆良 (医学書院)	Net 87

ベスグロ	竹内紀彰	49、48
ニアピン	宮原隼人	独占
ドラゴン	西山久吉、渡辺正憲	

(S. W.)



新年賀詞交換会

USACO® & CD-ROM

先進のオプティカルテクノロジーと検索システム

ユサコ㈱が、USACO & CD-ROMのキャッチ
フレーズの下、現在取り扱っている60種の中
より、次の製品を紹介致します。

SilverPlatter (日本総代理店)

シルバープラター社の CD-ROM 版データベ
ース(31種)をユサコ㈱がお届けします。



- ◆MEDLINE
- ◆AGRICOLA
- ◆CANCER-CD
- ◆PEST-BANK
- ◆CHEM-BANK
- ◆GPO Monthly Catalog
- ◆NTIS
- ◆LISA その他

Compact Cambridge (代理店)



- ◆ASFA
- ◆Drug Information Source
- ◆Life Sciences Collection
- ◆PDQ その他

iSi (指定代理店)



ISIが刊行する科学技術分野の代表的な文献引
用情報、Science Citation IndexのCD-ROM
版です。

- ◆Science Citation Index
Compact Disk Edition

(問合せ先)

-USACO-

ユサコ株式会社

東京営業所: 千105 東京都港区新橋1丁目13番12号堤ビル ☎(03)502-6471
開発グループ
営業所: 大阪☎(06)344-6624 名古屋☎(052)931-2601
筑波☎(0298)23-1773

1990年2月 通巻第274号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫
☎ 103 東京都中央区日本橋1丁目21番4号 千代田会館5階20号室 ☎271-6901 FAX.271-6920
☎ 530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎371-5329